

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連 (沖縄)	良く なっている	ゴルフ場（経営者）	単価の動き	・イベントを開催したことによる集客効果があり、また本土客もかなり増加している。そのため、単価がかなり上がり、当然売上の的にもかなり良化している。	
	やや良く なっている	家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・エコポイント制度終了後のテレビの需要落ち込みは相変わらずだが、落ち幅は小さくなっている。冷蔵庫、洗濯機は大型が伸びており、特段景気の落ち込みは感じない。	
	変わらない		住宅販売会社（総務・企画分野）	お客様の様子	・住宅建築の意欲の高い客が多い感がある。冷やかしか客が少なく、接客していても真剣味がある。消費税増税のことがきっかけになっていると推測する。
			百貨店（営業企画）	販売量の動き	・店舗合計では3か月前からは大きな変動は無い。前年より気温の変化があり衣料品の動きが良くなっているが、家庭用品、食品の物産展催事では前年を割り苦戦を強いられている。
			スーパー（企画担当）	来客数の動き	・来客数は前年並みで推移しており、景気は横ばいの様子である。
			コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・前年と比べて寒いため、ホット商材の飲料や中華まんが顕著に伸びている。また炭酸飲料で大型商品が出てヒットしているが、底上げにはつながらず、来客数の減少は続いている。来客数の前年比とたばこの売上前年比の数値は同じように推移しており、たばこを購入する客自体が減っていることが、来客数の減少を裏付けている。
			衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・通りの歩行者が少ない。今月は特に観光客も少なく感じられる。他店も同じであろうが、本店はリピーターの客に助けられている。もう少し新規の客が増えれば答えも変わるものとみる。
			その他専門店〔楽器〕（経営者）	販売量の動き	・修学旅行生などで、時々人通りが増えたりするが売上が前年より減少している。また、価格競争などで利益が大変厳しい状況になっている。
			観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・客室稼働率の前年比プラス幅が、3か月前と比べほぼ同様である。需要は大きくは変わっていない。
			通信会社（店長）	販売量の動き	・例年では冬の新品発売前に買い控えが出て販売量が落ち込むが、今年は変わらない販売量を保っている。
	住宅販売会社（代表取締役）	お客様の様子	・住宅建築について、厳しい予算計画の客が多い。		
	やや悪く なっている		スーパー（販売企画担当）	来客数の動き	・競合店の新規出店があり、来客数が減少している。
			コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年は震災の影響でたばこが異常な売れ方であったが、今年は平常値に戻り、来客数が10%減である。3か月前までは良い状況であった。
			その他専門店〔書籍〕（店長）	販売量の動き	・3か月前はどうか現状を維持していたが、今月の販売量は前年比で5%も落ちてしまっている。よって景気は悪くなってきているとみる。
悪く なっている		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	お客様の様子	・忘年会の企画を例年どおり始め、前年の2倍の外商活動をしているが、平日の忘年会の予約がほとんど入ってこない。12月は比較的週末予約が入っているが、平日の自粛モードはかなり進んでいる。	
企業 動向 関連 (沖縄)	良く なっている	-	-	-	
	やや良く なっている	輸送業（本社事業本部）	受注量や販売量の動き	・家電製品の取扱数量が減っているが、新規出店もあり、全体的には微増となっている。更には食品及び雑貨においても出店による取扱数量が若干増加している。	
	変わらない		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事向けは減少、民間向けはやや増加となっている。
			建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・契約棟数が低下傾向のままである。
			輸送業（代表者）	受注量や販売量の動き	・台風により積み増しされた受注残も、今月は天候も良く順調に稼働し、適正となりつつある。
通信業（営業担当）	取引先の様子	・当社を含む同業の経営状況はいずれも少額ながら、黒字経営で推移しているとみられる。			
やや悪く なっている		-	-	-	

	悪く なっている	-	-	-
雇用 関連 (沖縄)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣依頼はある程度堅調に続いているが、依頼先は既存ユーザーが多く新規依頼は少ない状況である。 ・この時期になると年末年始に向けて新規案件が増える時期だが、今年は動きが鈍い。 ・求人数もほぼ横ばい状況である。
		人材派遣会社 (総務担当)	求人数の動き	
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	
		学校[専門学 校](就職担 当)	雇用形態の様子	
				<ul style="list-style-type: none"> ・正社員の雇用求人が少ない。県内に進出している大手企業の求人もスタートは契約社員からである。そこから正社員へのハードルは高く厳しいといわれている。
やや悪く なっている				
悪く なっている	-	-	-	